

～中学校区の特色を生かした小中一貫教育～

盾津中学校区の特色ある取組み



盾津中学校区マスコットキャラクター（たてっば せいわっば やえっば ひがっば）

小中一貫教育推進室だより「TSUNAGU」では、子どもたちの様子や学校園の取組みなど、市内における小中一貫教育をはじめとした連続・一貫した教育活動の状況を発信していきます。

盾津中学校区は、成和小学校・弥栄小学校・鴻池東小学校の3校と盾津中学校の3小1中で構成されており、児童生徒の総数は東大阪市内で最も多い中学校区です。

本中学校区は、めざす子ども像「自分大好き！友だち大好き！みんなで考え、やりぬく子」のもとに、「なかと課題を見つける力」「他者を理解しつながら力」「自分を受け入れ行動する力」をつけたい力として、日々の教育活動に取り組んでいます。また、令和4年度よりコミュニティ・スクールとなり、「義務教育9年間でどのような子どもたちを育てるのか」という共通の目標にむけて、中学校区と地域が協力することにより、児童生徒の健全でたくましい成長をめざしています。

地域をTSUNAGU 盾津ふれあいフェスティバル

盾津中学校区は日本以外にルーツを持つ人々が多く居住している地域です。本校区はこのような特色を生かして、「互いに互いを理解しよう」という目的のもと、校区の多文化共生を推進していくとともに、地域とつながり、子どもたちのつけたい力の育成をめざした「盾津ふれあいフェスティバル」に取り組んでいます。

『ちがいを豊かさに ～つながって ひろがって たのしんで～』をスローガンに掲げて今年度は11月17日に盾津中学校を会場に開催しました。今年度の「盾津ふれあいフェスティバル」について紹介します。

第28回 盾津ふれあいフェスティバル ちがいを豊かさに ～つながって ひろがって たのしんで～

上記のスローガンのもと、「盾津ふれあいフェスティバル」に向け、子どもたちは様々な活動に取り組みました。

① 舞台発表

高学年児童は「プンムル（農楽）」に挑戦しました。「韓国朝鮮の文化と出会い、尊重する心を育む」「外国にルーツがある児童とともに支え合える集団作り」「子ども同士で教え合い、主体的に取り組む態度を養う」といったねらいのもと練習を重ねてきました。先生が全てを教えるのではなく、6年生が中心となって5年生に丁寧に教える場面、「より良いものにするためにはどうしたらいいか」についてみんなで意見を出し合い、話し合う場面なども見られ、子ども主体で試行錯誤しながら練習してきました。当日は素敵な舞台発表となりました。「プンムル（農楽）」以外にも「龍踊り」や「中国舞踊」「中国獅子舞」などの発表がありました。

② 模擬店・バザー

午後からの模擬店やバザーには中学生が参加しました。当日までの準備や出店の設営、運営方法など「より良いものにするために」子ども同士でアイディアを出し合い、いろいろな方法を試しながら準備を進めていきました。当日は地域の方々と一緒にフェスティバルを大いに盛り上げました。

このように行事を通して、互いの違いを認め合い、学んできたことを発揮できる機会をこれからも大切にしながら、中学校区と地域が一体となって子どもたちにつけたい力を育む取組みを進めていきたいです。



中国舞踊



中国獅子舞



チャンゴ演奏



模擬店

第27回 盾津ふれあいフェスティバル



マスコットキャラクターたち（たてつなぎっば）



長瀬中学校区の特色ある取組み

長瀬中学校区は大蓮こども園、大蓮小学校、長瀬南小学校、長瀬中学校の4校園からなります。4校園共通の小中一貫教育目標「たくましく生きる」を掲げ、「積み重ねる力」「学んだことを活用する力」「思いを伝える力」の育成を軸に日々の教育活動を行っています。

教科で「積み重ねる力」「学んだことを活用する力」の育成をめざして

長瀬中学校区では教科部会を立ち上げ、中学校区の先生が集まり、各教科を通して「つきたい力」をどのように育成していくかについて協議を進めています。今回は「積み重ねる力」「学んだことを活用する力」の育成をめざした英語科の取組みについて紹介します。

英語の学びは、大蓮こども園から始まります。こども園では、大阪府公立小学校英語学習6カ年プログラム「DREAM」*を活用し、英語の歌や物語を通した音声・文字に親しんでいます。早い時期から英語に触れ、英語や外国などに興味を持つ園児の姿が見られます。小学校では、中学校の英語科の先生とALTによる乗り入れ授業があり、英語を使ったコミュニケーションに取り組んでいます。子どもたちは「自己紹介」や「好きな食べ物」を友だち同士で会話したり、みんなの前で発表したりするなど、英語で話す経験を積み重ねています。中学校でも「スピーキング」の時間を大切にしており、コミュニケーション以外に、英語を使ってプレゼンを行うなど、これまで学んできた英語のスキルを積極的に活用する子どもの姿が見られます。

現在、学期末に中学校区独自のアンケートを実施し、コミュニケーション力や子どもの意欲等を丁寧に見取りながら進めています。

*「DREAM」とは、府内16の小学校での実践研究で得られた成果を生かした大阪府発のオリジナルプログラムのことで、段階的に聞く・話す・読む・書くを育成していくプログラムです。



英語で会話

英語でプレゼン

中学校英語科の先生による乗り入れ授業の様子

R6. 長瀬中学校区独自のアンケート

【児童生徒対象 肯定的回答率】

①「外国語/英語の授業で友だちや先生と簡単なコミュニケーションをとることができますか」

(7月) 89% > (12月) **90%**

↑ P+アップ

②「授業を使って学んだ英語を使って、さまざまな場面や人に対してコミュニケーションをとりたいですか」

(7月) 74% > (12月) **82%**

8 P+アップ

自主学習ノートで「思いを伝える力」の育成をめざして

「思いを伝える力」を育成するために大切にしていることはふりかえりです。大蓮こども園では1日の終わりに遊びを通して「自分はこう思った」「本当はこうしたかった」など、気づきや困ったことなどを自分の言葉で伝える時間をとっています。思いを伝えることが苦手な園児には先生が寄り添い、「自分の言葉」で伝えられるよう支援しています。

小・中学校でも授業の終わりにふりかえりの時間を設けており、学びを通して感じたことなどを自分の言葉で表現しています。

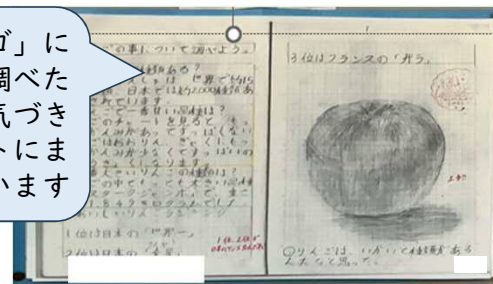
思いを伝える取組みの一つに「自主学習ノート」があります。ノートに書く内容は自分で決めることができます。例えば学習したことから疑問に思ったことやさらに調べたくなったこと、行事が終われば感想や深く考えたこと、日常生活の中で課題だと感じたことなど、それぞれ自分の思いを表現します。

このような機会を継続していくことで、「この集団は自分の思いを聞いてもらえる」という安心感へとつながり、自信をもって自分の言葉で「思いを伝える」子どもの姿が見られます。



「しじみ」について調べたことや気づきをノートにまとめています

「リンゴ」について調べたことや気づきをノートにまとめています



自主学習ノート